

社団法人設立60周年
協同組合設立25周年
記念誌

60th

柔道整復の
原点回歸と発展



公益社団法人 京都府柔道整復師会

社団法人設立 60周年記念 協同組合設立 25周年記念

KYOJUSEI 60th ANNIVERSARY

C O N T E N T S

■社団法人設立60周年・協同組合設立25周年記念

ご挨拶	会長 大西辰博	2
ご挨拶	協同組合理事長 関 弘美	4
祝辞	京都府知事 山田啓二	5
祝辞	京都市長 門川大作	6
祝辞	一般社団法人 京都府医師会 会長 森 洋一	7
祝辞	日本柔道整復師会 顧問/京都府柔道整復師会 顧問/衆議院議長 伊吹文明	8
祝辞	日本柔道整復師会 顧問/京都府柔道整復師会 顧問/法務大臣・衆議院議員 谷垣禎一	9
祝辞	京都府柔道整復師会 顧問/衆議院議員 田中英之	10
祝辞	京都府柔道整復師会 顧問/参議院議員 二之湯 智	11
祝辞	京都府柔道整復師会 顧問/参議院議員 西田昌司	12
祝辞	公益社団法人日本柔道整復師会 会長 工藤鉄男	13
ご挨拶	顧問 原 健	14
ご挨拶	名誉会長 栗原壽雄	15

■公益社団法人京都府柔道整復師会

社団法人設立60周年・協同組合設立25周年記念式典	16
---------------------------	----

■受賞者一覧

●京都府知事表彰	17
●京都市長表彰	17
●京都労働局局长表彰	18
●京都府国民健康保険団体連合会理事長感謝状	18
●京都府柔道連盟会長表彰	18
●公益社団法人 日本柔道整復師会 永年業務精励会員表彰	18
●公益社団法人 京都府柔道整復師会 永年会員表彰	18
●原基金特別表彰	18
●京都府柔道整復師協同組合役員表彰	18
●京都府柔道整復師協同組合員表彰	18
●指定業者感謝状	18

■公益社団法人京都府柔道整復師会

社団法人設立60周年・協同組合設立25周年祝賀会	22
--------------------------	----

60周年記念式典を終えて	式典実行副委員長 長尾淳彦	29
--------------	---------------	----

平成26年度 事業・組織体系図	30
-----------------	----

京柔整歴代会長	31
---------	----

京都府柔道整復師会の足跡	32
--------------	----



ご挨拶

会長 大西 辰博

公益社団法人京都府柔道整復師会の法人設立60周年の記念誌発刊にあたりましてご挨拶を申し上げます。

この度、京都府より社団法人に認可されて60周年を迎えた当会ですが、歴史を紐解きますと大正11年の京都府柔道整復師会創立第1回会合の開催から92年となるこの機会に、先人の活躍を柔道整復師の法制度の観点から振り返りました。

柔道整復は、明治以前は非観血的外科学の中心であり、臨床家として制約なく自身の判断で施術を行って参りました。しかし、明治初頭に西洋医学を中心に医制が施行され、多くの接骨医は整骨科として国家試験を受けて免許を得ることとなりました。整骨科としての免許の無い接骨医が施術をすると無資格医として逮捕され処罰されることもありました。

大正期になり柔道家が結集して「柔道接骨術公認期成会」を設立し、講道館の嘉納治五郎館長にも参加をお願いしましたが嘉納先生は「講道館柔道は人の足腰をさするようなこ

とはさせたくない。」と断られたそうです。

しかし、柔道家の活動が功を奏し、大正9年に「按摩術営業取締規則」の一部が改正され、第5条の2に「按摩は、脱臼、骨折の患部に施術を為す事を得ず。ただし、医師の同意を得たる病者についてはこの限りにあらず。」と定め、付則に「柔道の教授を為すものにおいて、打撲、捻挫、脱臼及び骨折に対して行う柔道整復術については、本規則を準用する。」とされ、ようやく柔道の教授が、捻挫、脱臼及び骨折に対して行う柔道整復術について有効性の法的根拠を得ることができました。

昭和21年に「柔道整復術営業取締規則」が柔道整復師の単行法として制定されましたが、この規則は按摩営業と同じく柔道家の新規営業を抑圧しようとする意図のある規則でありました。

その後、法制度の見直しの結果「按摩術営業取締規則」および「鍼術、灸術営業取締規則」が「按摩、マッサージ、指圧師、はり師、きゅう師及び柔道整復師に関する法律」

として取締規則の改定が行われました。規則では柔道整復師の活動を抑制できないので法律に書き換えられただけのことで、依然、業界には抑圧的でありました。

昭和45年に単行法としての柔道整復師法の制定の陳情活動が行われ、約4000人の会員による猛烈な陳情活動の結果「柔道整復師法」が超党派の議員立法として制定交付されました。この法律こそ現在の柔道整復師法の源泉につながる法律であり、また先人が苦難を克服して勝ち獲った証であります。

現在の業界に携わる者といたしましては、歴史を築いてこられた先人の功績を高く評価するとともに、今後我々が柔道整復師法を確立した大きな法典になるよう築いて行かなければなりません。

2025年問題で10年後に医療保険制度が破綻に近づき療養費が廃止され保険治療ができなくなる心配もございます。接骨院の乱立により超過当競争が続き、廃業や転職者が多発する場合がございますし、会員数の激減や無秩序に設立された養成校の廃業、倒産等々、問題が山積しております。

柔道整復師の施術は新鮮外傷で骨折、脱臼、捻挫、打撲、挫傷に限られております

が、この施術範囲の拡大のためにも柔道整復術の有効性を実証する必要があります。介護の関係では最近、日常生活を前提とした機能訓練が柔道整復師の業務として認められつつありますので、柔道整復師が行う新たな業務の拡大に光明が見えたものと感じております。

柔道整復術は世界保健機関でも日本の伝統医療として柔道セラピーという名称で紹介されている日本独自の治療技術であります。この日本古来の伝統医療である柔道整復術を、我々の代で消滅させることはできません。

先の公益法人制度改革において、公益社団法人へ移行したのも京都府柔道整復師会が公益的な活動価値の高い集団として公益事業を主体とする意気軒昂な会員集団として、府民のために貢献する決意からでございます。

10年後の話になりますが、業界に係る懸案事項の早期解決を図り、次期70周年記念事業も皆様とともに開催させていただくためにも、関係各位には倍旧のご指導ご鞭撻をお願いする次第でございます。

末筆になりましたが、皆様の一層のご繁栄とご多幸を心から祈念申し上げまして、記念誌発刊のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

協同組合理事長 関 弘美

公益社団法人 京都府柔道整復師会設立60周年・協同組合設立25周年の記念誌の発刊にあたり組合を代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げます。

皆様ご存じの通り協同組合は平成元年に創立されまして、以後25年が経過いたしました。今年には社団設立60周年記念の祝賀と合わせて協同組合も25周年として記念事業が行われました。協同組合設立当初は他団体に法人格を取得できないようにすることが主眼でありました。約2年間の検討時期を経まして開設し、運営を始めますとバブル期の好条件や組合員のご理解ご協力のお陰を持ちまして、予想外の売り上げと収益をあげることができました。事業運営は順調に進められ、近畿ブロックの協同組合連合会が設立され、京都府の補助金を受けた研修会の開催、鍼灸療養費の代理請求制度の実施など行政との折衝も問題なくクリアされました。衛生材料、湿布から自動車販売まで幅広く取り扱って予想外の実績を重ねて参りました。これは組合員の事業が好調であることを如実に表してきたことでもあります。

日本経済はアベノミクスとか申しまして好

調のようであります。これに反しましてここ数年来、組合の決算は利益が減少しつづあります。その主たる原因は柔道整復師の超過密化による組合員の減収にあると考えます。

今年も国家試験合格者が5000人を超えております。療養費の配分を受ける人数が増えることは、療養費の粋が定額もしくは減少でありますから先生方の受け取る療養費は少なくなります。年単位で見ても数百万単位で減収となっている先生が少なくありません。接骨院経営が成り立たなくなつて廃業される先生もおられます。

このような状況は約10年続くと考えられます。過当競争にしっかりと対応できない限り10年後20年後の柔道整復業界は火が消えたようになることでしょう。無計画な高額機械の購入や多額の借入れなどは厳に慎まなければなりません。学術の研鑽と経営の合理化が身を助けてくれます。社団と協同組合は車の両輪であります。一致団結して会員、組合員の利益を確保できるように努めて参ります。簡単ながらご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

京都府知事 山田 啓二

公益社団法人京都府柔道整復師会設立60周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

大西辰博会長をはじめ柔道整復師会の皆様におかれましては、平素から京都府の健康福祉行政の推進に、格別の御理解、御協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

さて、京都府柔道整復師会におかれましては、大正11年の創立から90年間、昭和29年の社団法人化の節目を挟みながら、長きに渡り、柔道整復術の進歩・発展と公衆衛生の向上のため多岐にわたる活発な取組をいただいております。平成25年には更なる社会福祉の増進という目的の下、公益社団法人に移行されたところであります。そのたゆまぬ御尽力と熱意に改めてお礼申し上げますとともに、今後ますますの御活躍を期待申し上げます。

皆様ご承知のとおり、2025年には4人に1人が75歳以上の高齢者になる、超高齢社会が到来するといわれております。高齢者の生活を支える若い世代の人口割合が減少する時代においても高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活していくためには、身体機能の向上によるケガの防止など、日常生活で介護予防

を推進していくことが何よりも重要でありますが、日本の伝統医療である柔道整復術は、人間の持つ自然治癒能力を高めることにより、心と体を整え、健康を維持する上で大変効果がある治療法として、大きな期待が寄せられています。

京都府といたしましても、福祉、介護、医療サービスを一体的に提供できる仕組みを構築する「京都市域包括ケア」を推進しているところであり、今年度は「認知症総合対策」、「看取り対策」、そして「リハビリテーション総合対策」を三大プロジェクトと位置づけ、地域包括ケアシステムのさらなる推進に努めているところであります。

府民の皆様お一人お一人が、夢と希望を抱き、生きがいを持って暮らせるような京都をつくっていくため、尽力する所存でございますので、どうか皆様方の一層の御支援と御協力を御願ひ申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人京都府柔道整復師会が60周年に及ぶ輝かしい歴史と伝統を礎に、今後ますます発展されますことを祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。



祝 辞

京都市長 門川 大作

病やけがなどに悩む人のお世話をする意味で用いられる「看る」という字は、“手”に“目”と書きます。柔道整復術は、まさに“手”技を駆使し、同時に患者さんの“目”線に立って症状を和らげる、我が国伝統の素晴らしい治療技術。その技と心を今に受け継がれる公益社団法人京都府柔道整復師会が、この度、創立60周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、人が本来持っている自然治癒力を最大限に引き出す柔道整復術を通じ、地域の方々に身近な整骨院や接骨院を拠点に、本市市民の健康増進に多大な御尽力を重ねてこられました。さらには、本市と連携した介護予防に対する積極的な取組や、柔道教室を通じた青少年の健全な育成など、市民の皆様が健やかに暮らせる京都のまちづくりを多方面にわたり力強くお支えいただいております。大西辰博会長をはじめ、歴代役員並びに会員の皆様方のたゆまぬお取組に深く敬意と感謝の意を表します。

元気で活力に溢れた毎日を送りたい。それが、時代の移り変わりにかかわらず多くの人が抱く願いであることは言うまでもありません。しかしながら、疾病などにより、日

常生活に不安を感じておられる方も少なくありません。病気があってもうまく付き合いながら、その重症化や新たな疾病を防ぎ、毎日を笑顔で楽しく暮らしていくためには、自らの主体的な健康づくりへの取組と、それを社会全体でサポートする仕組みが必要です。こうした中、貴会の皆様の果たされる役割は更に大きくなると存じます。皆様が健やかな暮らしのパートナーとして一層御活躍されますことを念じております。

さて、京都市では、昨年度に「京都市民健康づくりプラン（第2次）」を策定し、健康上の問題で制限されることなく自立して日々を過ごせる期間、いわゆる「健康寿命」を延ばす取組を進めているところです。

これからも、市民の皆様がいきいきと健やかに生活できる「笑顔・健康都市」の実現を目指して全力を尽くしてまいりますので、引き続き皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人京都府柔道整復師会の今後ますますの御発展、並びに会員の皆様方の御健勝と御多幸を心から祈念いたしまして、記念誌発刊のお祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

社団法人設立60周年を祝して

一般社団法人 京都府医師会
会長 森 洋一

この度、公益社団法人京都府柔道整復師会が社団法人設立60周年を迎えられ、記念誌を発刊されるに当たりまして、京都府医師会を代表して心よりお慶び申し上げます。

京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、昭和29年に社団法人として設立されて以来、柔道整復師の資質向上、生涯教育、社会奉仕等、医療・福祉の様々な面において、重要な役割を果たしてこられました。そして今では約400人を擁する団体として成長を遂げられ、京都府民の健康増進にも力を注いでおられます。このような発展をとげてこられたのは、皆々様の献身的な活動があってこそでありましょう。半世紀もの長きにわたり様々な事業に情熱を持って熱心に取り組んでこられた歴代会長先生方をはじめ関係各位の多大なご尽力、ご労苦に対しまして、深甚なる敬意を表する次第でございます。

さて現在、私たち医療従事者にとりましては、まさに苦難の時代であると言わざるを得ず、経済格差が拡大している今日の日本にお

いて、社会保障の根幹を成す皆保険制度の堅持は、今後も死守すべき国民的課題であります。このような現状を打破するために、国民に対し医療制度に関する問いかけを行い、日本の医療制度をより良い方向へ導くことが、我々医療従事者の使命であると考えております。国民から真に信頼される医療づくりを目指し努力を続けることが、将来の日本の社会保障制度を守ることに繋がっていくということを認識しなければなりません。

京都府医師会といたしましても、貴会をはじめ、各関係団体との連携強化をはかり、公平かつ適正な社会保障制度の確立を目指して努力を惜しまぬ所存でございます。私共の活動に対し、今後ともご尽力をいただきますようお願いいたします。

結びに、この60周年を迎えられるにあたり、京都府柔道整復師会のますますの発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

日本柔道整復師会 顧問
京都府柔道整復師会 顧問
衆議院議長 伊吹 文明

社団法人京都府柔道整復師会の創立60周年誠におめでとうございます。

昭和29年に社団法人として京柔整が設立されて以来の半世紀の間、日本は目ざましい経済成長を遂げ、豊かな国となりました。この経済的発展のおかげで、医療の分野でも大きな変化がありました。皆保険制度や老人医療制度が導入され、介護保険制度も十年前に創設されました。柔道整復施術にも療養費払いの制度が生まれました。医療技術も目ざましく進歩し、生活水準の向上もあって、日本は世界に誇るべき長寿国家となったのです。貴会もまた柔道整復師の資質・技術の向上のための研鑽を重ねられ、国民の健康を護るための活動・社会貢献を着実に果たしてこられました。この間の大西辰博会長はじめ歴代会長および会員の先生方の一致団結したご努力に心から敬意を表します。

しかし今、「繁栄した国はあっても、繁栄し続けた国はない」という歴史の必然の罫に日本もはまりつつあります。本格的な少子・長寿社会、人口減少時代を迎え、経済成長率は低下を始め、社会保障費増大のため、財政は大赤字の状態です。しかし豊かさに慣れた国民のニーズは多様化し、更なる豊かさを求めています。

これに応えるには、医療提供体制をトータ

ルとして見直し、医療保険・老人保健制度・医療供給体制等も含めた医療福祉システム全般の改革は避けて通れません。消費税率の引上げと併せて、現在「医療制度」の抜本的改革の導入が始まっています。手術は痛いものですが、痛いといってこれを避けると生命そのものが危うくなりかねません。その方向は、まず自助を基本に、社会保険の共助を組み合せ、真に必要な人に公助の手を差しのべるということです。病院から地域医療へ、地域医療から在宅医療へ——という流れでしょうか。そのなかで柔道整復師の先生方の役割は、むしろ増えていくでしょう。

今後も日整を窓口として、地域に深く根ざし、医療を通じて患者さんと親身にふれあい、その健康維持・増進に日々ご尽力願っている柔道整復師の先生方の役割を、地域医療のなかにしっかりと位置付けていかねばなりません。先生方には、地域のなかで培ってこられた患者や地域住民の方々との人間同士の信頼関係を大切に、今後もその役割を十分はたしていただくよう一層のご研鑽をお願いしたいと存じます。

結びに社団法人京都府柔道整復師会が法人設立60周年を契機とし、益々発展されますことと、会員の先生方の更なるご活躍、ご健勝を祈念し、お祝いの言葉とします。



祝 辞

設立60周年を祝して

日本柔道整復師会 顧問

京都府柔道整復師会 顧問

法務大臣・衆議院議員 谷垣 禎一

公益社団法人京都府柔道整復師会が設立60周年を迎えられ、この度記念誌発刊の運びとなりましたことを心からお祝い申し上げます。

古い歴史を持つ柔道整復術はわが国の伝統医療として長きに亘り住民の医療と健康に寄与してこられ、また、超高齢化社会が急速に進展する現代社会においては、介護の分野も視野に置き、介護予防事業を展開されるなど、皆様のご努力は柔整への大きな信頼として地域にしっかりと根付いております。

医療技術が目覚ましい発展を遂げて来た今日、最新医療と伝統医療の両立は国民への大

きな安心であり、柔整独自の伝統を守りながら、新しい時代設計に心を砕き、業界を牽引してこられた貴会の60年の歴史に改めて敬意を表する次第です。

今後も、確かな知識・技術に加え、公益というモラルを備え持った柔道整復師が地域社会に大きく貢献できる環境造りにご尽力賜りますことを願っております。

設立60年という大きな歴史の節目にあたり、貴重な伝統を礎とされ、貴業界が大西辰博会長を中心に、今後益々ご隆盛あらんことと、皆様のご活躍をお祈りし、記念誌発刊にあたってのお祝いの言葉といたします。



祝 辞

社団法人設立60周年に寄せて

京都府柔道整復師会 顧問
衆議院議員 田中 英之

公益社団法人京都府柔道整復師会が社団法人を設立されて60周年の節目をお迎えになるにあたり、心よりお慶び申し上げます。公益社団法人京都府柔道整復師会 大西辰博会長はじめ会員の皆様、またこれまで長い歴史の中で京柔整をお支え頂いたそれぞれの皆様のご尽力に心より敬意を表します。

さて、安倍政権の安定化により日本も信頼ある国家としての新たな展望が開けようとしておりますが、経済施策はじめTPP、外交、国防、医療、教育、年金、少子高齢化、エネルギー問題、憲法改正その他多岐に亘る課題が山積しており、難しい政権運営を強いられていることは事実です。私も与党議員の一員として、安倍政権をしっかりと支えながらも

地元京都の支援者の皆様はじめ多くの方々と意見を交換し、より良い日本を築くために政治活動を続けて参りたいと考えておりますので、京柔整におかれましても変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人として、柔道整復師の資質向上はじめ国民の健康を守るためにこれからも公益に資するさまざまな活動を続けられますこととあわせて、60周年というこの佳き節目を契機に京柔整が更なる飛躍と発展を遂げられますことを願いたします。

結びに、京柔整会員各位のご健勝ご多幸とそれぞれのお立場でのご活躍を心より願いたしまして、私からのお祝いの一言と致します。



祝 辞

京都府柔道整復師会 顧問
参議院議員 二之湯 智

公益社団法人京都府柔道整復師会様が設立60周年をお迎えになりましたことを心よりお祝い申し上げます。

平素は格別のご支援ご指導を賜り心より感謝申し上げます。

京都府柔道整復師会におかれましては、大西辰博会長並びに歴代会長を先頭に、永年にわたり柔道整復学術・技術の研鑽に精力的に取り組まれ、国民医療の向上はもとより、各種研修会活動や柔道を通じた青少年の健全な育成を目指す社会貢献活動などの多大なご尽力を賜っておりますことに深く敬意を表します。

日本経済の現状につきましては、アベノミクス政策により、都市圏の大企業を中心に回復の兆しが見えつつあるものの、京都も含め地方経済の実態は、まだまだ厳しい状況にあります。今後、政策を着実に実行し、成果を

挙げるためにも、絶えず経済状況を注視し、できうる限りの対策に迅速に取り組み、責任与党として毅然とした姿勢で国会論戦に臨まなければなりません。我々自民党は、国民が安心して暮らしていける社会を取り戻すために全力を傾注してまいります。

今後、柔道整復師の人数は増え続けると聞き及んでおりますが、皆様方の知識と技術を活かされ、地域密着である医療人として、国民の健康維持と増進のためにご活躍くださいますよう、心よりお願い申し上げますとともに、貴会のよりよい事業推進のために私も全力で取り組んでまいります所存でございます。

結びにあたりまして、公益社団法人京都府柔道整復師会様が設立60周年を契機とされ、今後益々のご発展、会員の先生方のご活躍とご健勝を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

京都府柔道整復師会 顧問
参議院議員 西田 昌司

公益社団法人 京都府柔道整復師会が社団法人創立60周年を迎えられ、さらに記念誌を発行されますことを、心からお祝い申し上げます。

平素より、京都府柔道整復師会の皆様方におかれましては、格別のご芳情とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴、柔道整復師会は、創設以来60年の長い歴史の中で、諸先輩による計り知れないご苦勞の中、大西辰博会長様を中心に皆様方の強い絆のもと、国民の柔整業務に対する社会的要請に応えながら、災害救護や防災訓練への協力、ならびに各種スポーツ大会のボランティア救護活動等、さまざまな活動を通じて国民の健康増進に情熱をもって貢献され、精励されておられます事に心から敬意を表する次第であります。

柔道整復は、古くは「ほねつぎ」とも呼ば

れ、伝統的に長く国民の間で受け入れられてきておりますが、皆様におかれましては、これまで地域の中で培ってこられた永きに亘る実績と信頼のもとに、これまで以上に真価を発揮されるものと強く確信いたしております。

今後におきましても貴会が柔整業務を通じ府民の健全な生活と住みよい社会の創世に寄与して頂きますよう心より念願いたしております。

私も皆様方のご理解、ご協力のもとに、国民生活の向上と京都府発展のため全力を尽くす決意であります。

結びにあたり、更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に京都府柔道整復師会の益々のご発展と、会員皆様方より一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げましてご挨拶といたします。



祝 辞

公益社団法人 日本柔道整復師会
会長 工藤 鉄男

京都府柔道整復師会の社団法人設立60周年
ならびに協同組合設立25周年、心からお祝い
申し上げます。

さて、貴会は平成25年4月に公益社団法人
として、時代の要請に叶う組織に新しく移行
されました。この新公益法人制度への移行手
続きは、明治29年の制度化以来の大改正であ
りまして、組織運営の抜本の見直しなど公益
認定までの道のりは大変困難を極めたことと
存じます。大西辰博会長を中心に、執行部が
寝食を忘れて真摯に認定事務に向き合い、そ
して、会員皆様の一致団結したご協力の賜に
より、高いハードルを乗り越えられました。
これまでのご努力に敬意を表しますととも
に、重ねてお祝いを申し上げます。

有資格者が参集して、全日本柔道整復師会
連合会が発足され、全国大会が開催されまし
た。この連合会組織がのちの、日本柔道整復
師会設立に向けての第一歩なるところでござ
いますが、我が業界にとりましては、歴史に

刻むべき一大行事・出来事でございました。

我々柔道整復師は長い歴史の中で地域医療
の一端を担い、公衆衛生の向上に寄与してま
いりました。今後もこの新たなスタートを契
機に、公益法人としての責任の重さを再認識
し、府民の健康保持・増進に向けて地域に根
ざした地域包括ケアシステムはもとより、介
護・高齢者対策に強く貢献していく活動を積
極的に展開されるよう、切に希望するもので
あります。

日本柔道整復師会も、柔道整復師が医療・
介護・福祉の分野で国民から求められる要望
に如何にこたえていくべきかを考え、最善を尽
くす所存であります。皆様の更なるご指導を
賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、関係各位の温かいご理解のも
と、公益社団法人京都府柔道整復師会が大西
辰博会長を中心に結束され益々ご発展されま
すことと、皆様のご健勝とご活躍を心よりご
祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



ご挨拶

顧問 原 健

この度、公益社団法人京都府柔道整復師会設立60周年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されますことを、心よりお慶び申し上げます。

私自身、過去を振り返りますと、法人設立30周年記念は副会長として参加し、40周年記念は会長としてその重責を果たして参りました。また、50周年記念は名誉会長として祝辞の挨拶をさせて頂きましたが、40周年から50周年の10年間の間に、日本柔道整復師会会長として全国柔整師全体の利益確立を全うして参りました。この度は、顧問として60周年記念誌発刊に祝辞の挨拶を述べさせて頂く光栄に預り、感謝と感動でいっぱいでありたい。

私も86歳、愛する京柔整会諸兄に柔整師としての道標として、これだけは考えてほしいことを述べたいと思います。

60周年の柔整会の歴史の歩みを振り返れば、先輩が与えてくれた恵みに感謝する心を持つことこそ明日への健全な力となると思います。

柔道整復が未来永劫に存続し続けるために、東洋医学として4000年の歴史に流れを汲む柔道整復の過去を、しっかりと学ぶことが肝心ということでもあります。外科、整形外科の亜流を追い求めることは柔道整復の未来は暗いと言うことです。先人の築き上げた柔道整復の勉強と技術の習得こそ柔道整復存続の証であります。超高度化した医学界の中で柔道整復の熟知こそ、生き延びる手だてであります。また、柔道整復は5つ【骨折、脱臼、打撲、

捻挫、挫傷】の施療範囲に法的に限定されております。明治の医制施行以前はそのような制約はなく自由に施療できました。

加えて、柔道整復師の利益のために業務の拡大を弛まなく研究し続けることであり、これからは新規事業への参画、業務の拡大をためらいなく会員が一人ひとりの知恵・力を結びつけることが、信頼に繋がることを忘れず勝ち取る必要があります。

また、重要なことは、会の指導者たるもの自分に与えられた権威・権力は自分のものにせず、全ての会員並びに会組織のために捧げる努力が必要であります。即ち、権威・権力とは、正義であり、道徳である。従って、正しく踏み外してはならないことを肝に銘じることでもあります。

60周年記念を節目とし、会員は団結して、柔整界共存共栄の花を開くためにも、へこたれず、ゆきすぎず、常に地道に柔整師としての正道を信条とし、国民から期待され、愛され、感謝されることを、大切にすることを忘れず喜ぶこと知り感謝感動の心を知ること大切に、60周年記念を心から祝うと共に、70周年に向け、正義感に富む、現 大西会長を中心に、京都から業界を飛躍発展させるという信念を持ち、何が正しいかの判断は柔整師の繁栄と平和、幸福を高め、お互いに信頼し愛し合い、さらに助け合う心を持ち最善を尽くすことを祈念し、挨拶といたします。



ご挨拶

名誉会長 栗原 壽雄

京都府柔道整復師会が昭和29年に社団法人に認可されてから今年で60周年を迎えることとなりました。この度の記念誌発刊にあたりまして謹んでご挨拶を申し上げます。

さて、私が当会の第10代会長職を勤めさせていただいたのは、平成13年4月から平成19年3月まででした。振り返ればこの頃は福岡地裁で柔道整復師養成施設の新設を認めないという当時の厚生省処分を取り消す判決が出たこともあり、平成12年4月に「柔道整復師養成施設指導要領」の大幅な改正が行われ、養成施設乱立による柔道整復師の過剰輩出時代に突入した時期と重なります。ただ柔道整復師数の伸び率だけを見れば平成12年と平成18年を比べた場合に10%程度の上昇であったため、まだ業界の考え方にも余裕があり保険者との関係も比較的良好な時代でした。ところが今では報道機関等による度重なる柔道整復バッシングや柔道整復療養費の不支給問題等々、我々を取り巻く環境は年々悪化の一途を辿るばかりです。

そのような中、大西現会長は日本柔道整復

師会の理事を兼任され、柔道整復師の地位向上・社会的信頼の回復、そして柔道整復療養費受領委任払いの維持継続のために強力な業界の組織形成を目標に挙げ東奔西走されております。柔道整復師が生き残るには業界が団結して独自性を持った柔道整復の有用性と存在を強く主張し続けなければなりませんので、私も業界の一員として支援を誓うところでございます。

当会は先の公益法人制度改革に伴い昨年4月より公益社団法人として新たに出発していますが、社団法人設立に際し尽力された先人や60年の歴史と伝統を築き上げることに協力いただいた会員の皆様ならびに関係各位に対しまして敬意を表しますとともに、今回の記念誌発刊にご尽力いただきました当会広報部の先生方に心より御礼申し上げます。

末筆になりましたが、この記念誌にお目通しいただく総ての皆様のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



社団法人設立60周年・ 協同組合設立25周年 記念式典

平成26年6月8日(日)、京都ホテルオークラ4階晩雲の間に於いて社団法人設立60周年及び協同組合設立25周年記念の式典・祝賀会が開催された。

午前11時、中田康人総務部長・遠藤のぶ子様の司会、長尾淳彦副会長の開式の辞を以て記念式典が始まった。国歌斉唱、大西辰博会長の式辞、関弘美協同組合理事長が挨拶を述べた後、表彰式に移った。

京都府知事表彰ならびに京都労働局局長表彰は林啓史会員が拝受、京都市長表彰は3名に贈られ代表して柴田宗宣会員が拝受、京都府国民健康保険団体連合会理事長感謝状は2



式辞 大西辰博 会長



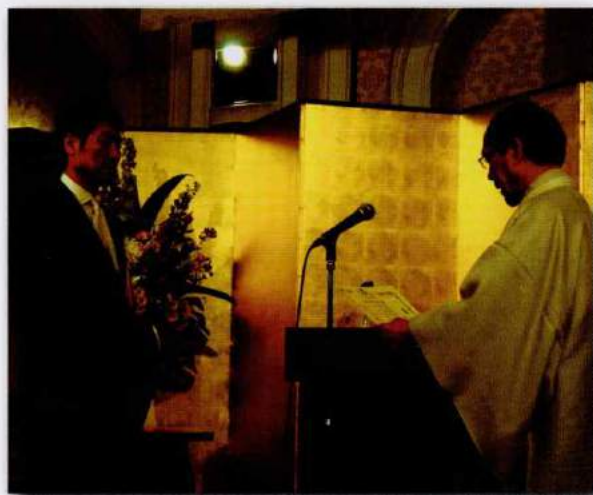
開式の辞 長尾淳彦 副会長



挨拶 関弘美 協同組合理事長



京都府知事表彰 林啓史 会員



京都市長表彰 柴田宗宣 会員

名に贈られ代表して藤野勝弘会員が拝受、京都府柔道連盟会長表彰は2名に贈られ代表して岡島順会員が拝受、公益法人日本柔道整復師会永年業務精励会員表彰は3名に贈られ代表して栗原壽雄会員が拝受、公益法人京都府柔道整復師会永年会員表彰は坪田登史浩会員が拝受、原基金特別表彰は2名贈られ代表してガンバトル フデレムンフ会員が拝受した。京都府柔道整復師協同組合表彰に移り、役員表彰は2名に、組合表彰は10名に贈られ代表して東森健太郎会員が拝受、指定業者感謝状は12社に贈られ代表してダイヤ工業株式会社様に授与された。各表彰が行われた後、代表して林啓史会員が謝辞を述べられた。

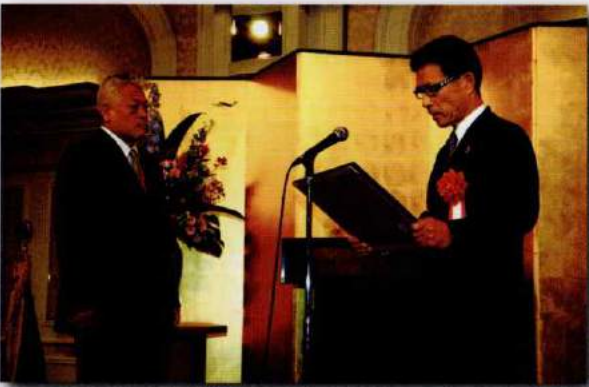
引き続き、来賓の山田啓二京都府知事、門川大作京都市長、伊吹文明衆議院議長、田中英之衆議院議員、西田昌司参議院議員、日本柔道整復師会 工藤鉄男会長より祝辞を頂き、顧問、官界、関係団体からご出席を賜った方々の紹介があった。司会より祝電の披露が有り、柴田宗宣副会長の閉式の辞をもって記念式典は終了した。



京都労働局局長表彰
林啓史 会員



京都市国民健康保険団体連合会理事長感謝状
藤野勝弘 会員



京都府柔道連盟会長表彰
岡島順 会員



公益社団法人 日本柔道整復師会 永年業務精励会員表彰
栗原壽雄 会員



公益社団法人 京都府柔道整復師会 永年会員表彰
坪田登史浩 会員



原基金特別表彰
ガンバトル フデレムンフ 会員



京都府柔道整復師協同組合 役員表彰
東森健太郎 会員



指定業者感謝状
ダイヤ工業株式会社 様



京都府知事表彰
京都労働局長表彰
林啓史 会員



京都市長表彰
柴田宗宣 会員 中村英弘 会員 宮根保司 会員



京都市国民健康保険団体連合会理事長感謝状
藤野勝弘 会員 林啓史 会員



京都府柔道連盟会長表彰
井上彰二 会員 岡島順 会員



公益社団法人 日本柔道整復師会
永年業務精励会員表彰
巨高司 会員 井坂豊 会員 栗原壽雄 会員



公益社団法人
京都府柔道整復師会
永年会員表彰
坪田登史浩 会員



原基金特別表彰
ガンバートル フデレムンフ 会員



京都府柔道整復師協同組合
役員表彰
東森健太郎 会員



京都府柔道整復師協同組合 組合員表彰
本間利忠 会員 熊本喜久雄 会員

受賞者氏名(順不同)

◎京都府知事表彰

林 啓 史

◎京都市長表彰

柴 田 宗 宣 中 村 英 弘 宮 根 保 司

◎京都労働局局長表彰

林 啓 史

◎京都府国民健康保険団体連合会理事長感謝状

藤 野 勝 弘 林 啓 史

◎京都府柔道連盟会長表彰

井 上 彰 二 岡 島 順

◎公益社団法人日本柔道整復師会永年業務精励会員表彰

栗 原 壽 雄 井 坂 豊 亘 高 司

◎公益社団法人京都府柔道整復師会永年会員表彰

坪 田 登 史 浩

◎原基金特別表彰

湊 谷 知 幹 ガンバートル フデレムンフ

◎京都府柔道整復師協同組合表彰

○役員表彰

山 形 高 明 東 森 健 太 郎

○組合員表彰

盛 次 俊 允	主 原 一 朗	橋 村 恵 三
橘 啓 史	本 間 利 忠	藤 田 茂 男
梅 本 実	熊 本 喜 久 雄	中 村 圭 一
小 林 賢 二		

○指定業者感謝状

株式会社みらいふ 様	オクムラユニフォーム 様
ワールドインシュアランスエージェンシー株式会社 様	
ダイヤ工業株式会社 様	株式会社みやこ印刷 様
東和ハイテック株式会社 様	株式会社吉田養真堂 様
株式会社エス・エス・ビー 様	テイコクファルマケア株式会社 様
株式会社ユーテック 様	私光電研株式会社 様
株式会社関西放射線機器 様	



祝辞 山田啓二 京都府知事



祝辞 門川大作 京都市長



祝辞 伊吹文明 衆議院議長



祝辞 田中英之 衆議院議員



祝辞 西田昌司 参議院議員



祝辞 工藤鉄男 日整会長



社団法人設立60周年 協同組合設立25周年 祝賀会

標記祝賀会が京都ホテルオークラ暁雲の間に於いて午後1時より、中田康人総務部長・遠藤のぶ子様司会の司会で進行した。長尾淳彦副会長の開会の辞、大西辰博会長の挨拶により始まった。

来賓より二之湯智参議院議員、京都府医師会 森洋一会長ご名代 安達秀樹副会長、野中広務元自民党幹事長、田中英夫京都府議会議員、片山誠治京都府議会議員、村田正治京都府議会議員、橋村芳和京都市議会議員から祝辞を頂いた。

日本柔道整復師会 木山時雨副会長の乾杯の発声の後、祝宴が始まり祇園甲部の芸妓・舞妓による祝舞により華やかな宴となった。あちらこちらのテーブルでは祝舞を終えた芸妓・舞妓と歓談や撮影をされていた。

最後に、日本整柔道整復師会 萩原正和副会長の万歳三唱、柴田宗宣副会長の閉会の辞をもって盛大かつ華やかに閉会となった。



開会の辞 長尾淳彦副会長



挨拶 大西辰博 会長



祝辞 二之湯智 参議院議員



祝辞 京都府医師会 安達秀樹 副会長



祝辞 野中広務 元自民党幹事長



祝辞 田中英夫 京都府議会議員



祝辞 片山誠治 京都府議会議員



祝辞 村田正治 京都府議会議員



祝辞 橋村芳和 京都市会議員



乾杯のご発声 木山時雨 日整副会長



乾杯風景



祝舞



祝賀会風景



万歳三唱 萩原正和 日整副会長



万歳三唱風景



閉会の辞 柴田宗宣副会長



閉会後のロビーにて

祝賀会 ご来賓の皆様



祝賀会 ご来賓の皆様



祝賀会 本会会員等



祝賀会 本会会員等



60周年記念式典を終えて

式典実行副委員長 長尾 淳彦



このたび60周年記念式典が成功裏に開催できましたことを、会員並びに関係各位に御礼申し上げます。

さて、今回の式典を終えたとき、平成21年5月24日に行われた55周年記念式典を思い出しました。当時、大西辰博会長就任一期目の新執行部メンバーで約一年間、開催に向け、万全のおもてなしを準備しました。直前に新型インフルエンザ大流行で京都での催しが軒並み中止となり、本会55周年式典も不可能かと思われましたが、京都府・京都市と協議を重ね開催前々日に承諾をいただき、安堵したことを昨日のように思い出します。

公益社団法人移行後、初めての周年記念式典で中田康人総務部長を中心に「京都らしい穏やかなおもてなし」と「社団として還暦を迎えての原点回帰」を心掛けました。

周年記念事業開催は、柔道整復業務を長年精励された会員を表彰すること、行政はじめ柔道整復師以外の関係者に柔道整復業界の現状と柔道整復を正しく知らしめることを目的としています。

今回は特にご挨拶をいただく来賓の皆様にあ礼ながら「整体」や「あん摩」「マッサージ」は「柔道整復」ではないと事前に申し上げ「柔道整復」を説明させていただきました。

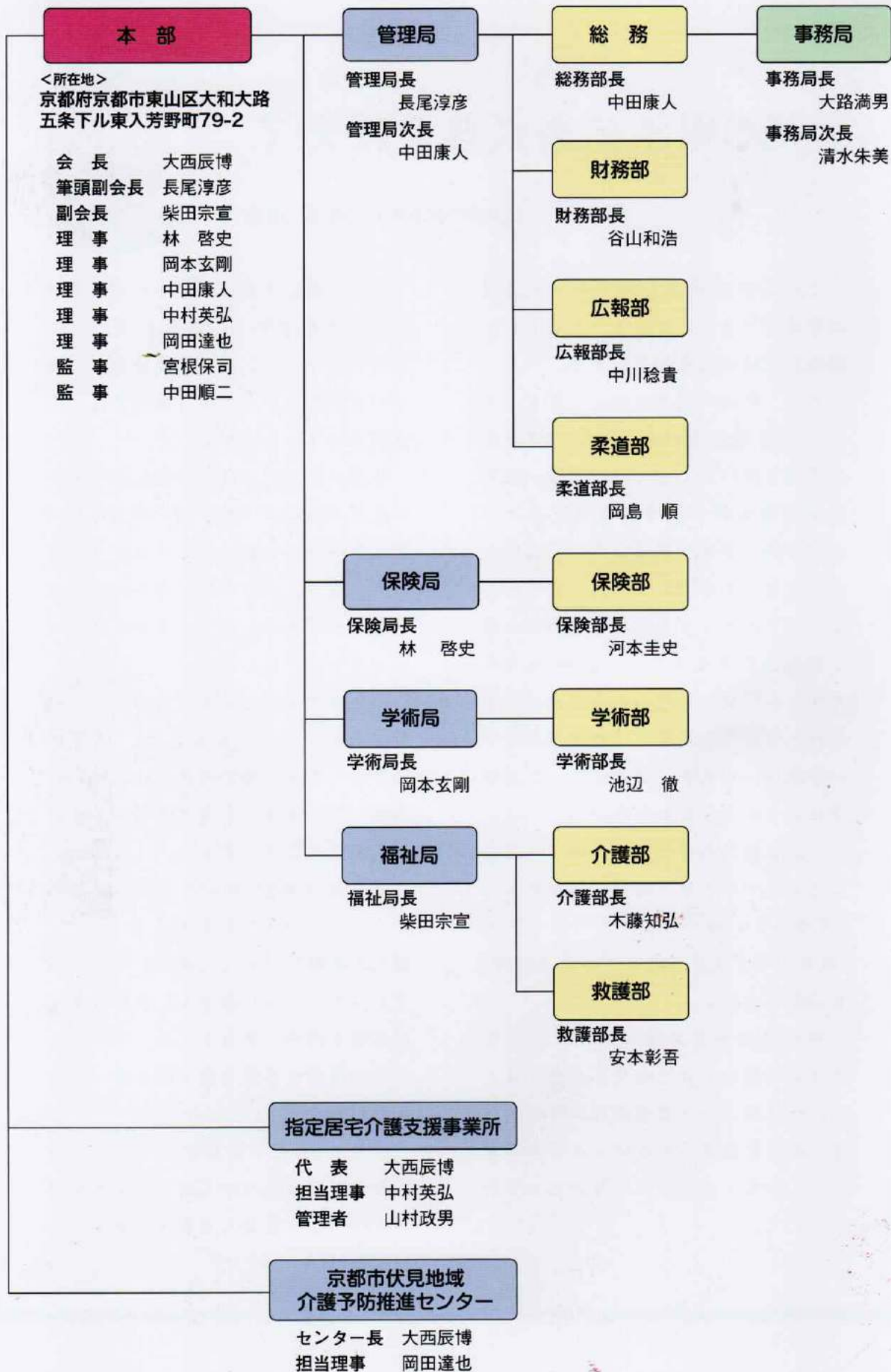
全国の社団における周年記念事業での来賓の挨拶に「腰が痛い時は皆様のところへ行って整体をしてもらう」「揉んでもらう」などの言葉が入り、どの団体への「祝辞」でしょうかと思うことが多々ありました。

おかげで今回は来賓の挨拶のなかに前述した言葉は一言も出ず、「柔道整復師会の周年記念に相応しい祝辞」に感謝いたします。来賓の皆様、本当にありがとうございました。

本会は平成25年より公益社団法人となり、この60周年を節目として、国民の皆様には「安心」「安全」で「いつでも」「どこでも」「誰でも」良質な柔道整復術を提供できるように、さらなる学術の研鑽と高潔な倫理観を持って歩んでいきます。

最後に60周年式典開催並びにこの記念誌発刊に尽力いただきました関係各位に心より感謝の意を表します。

公益社団法人 京都府柔道整復師会



京柔整歴代会長



初代会長 稲葉太郎



二代会長 松浦 新



三代会長 清水久次郎



四代会長 齊藤善一郎



五代会長 久家 恵



六代会長 田中寛成



七代会長 中村治一郎



八代会長 片川吉雄



九代会長 原 健



十代会長 栗原壽雄

京都府柔道整復師会の活動

主な継続事業（平成16年度以前）
新規開業者（新入会員）を対象とした学術勉強会及び保険説明会を開催
各種柔道大会及び古武道演武大会に選手、演武者、審判員、係員等を派遣
京都市体育振興会連合会主催体育大会及び各種スポーツ大会、柔道大会等に救護班を派遣
京都市社会福祉協議会等のデイサービスセンターに機能訓練指導員を派遣
京都府柔道整復師会指定居宅介護支援事業所を運営
京都市の運営する介護認定審査会に審査員を派遣
理事会を開催、全体会議（旧称：理事支部長会）を開催
個人レセプトシステムの普及活動、コンピュータシステムの充実・強化、ホームページの維持・更新
京柔整会報の発行、日整広報等への投稿活動
各種委員会を設置・開催
WEBカメラの設置及び維持・管理
定款、定款施行細則及び諸規定の見直しと検討
生涯学習の充実、柔道整復師の資質向上関連の書籍等の購入・貸出
京都府柔道整復師会館の管理運営
互助会規則に基づく会員の相互扶助
京都新聞社歳末ふれあい募金活動に協力
各種保険審査会への参加・協力
京都府柔道整復師会少年少女柔道教室を開催
保険説明会を実施（平成17年度～）
会員増強運動を展開（平成17年度～）
近畿ブロック学会及び近畿ブロック柔道大会参加者に交通費等の助成（平成18年度～）
柔道整復師卒後研修制度に協力（平成19年度～）
広報活動として、京都府内市区町村長及び柔整養成校、その他の団体へ京柔整会報を送付（平成20年度～）
京都府・日整・近畿ブロック等の保険担当者会議に参加（平成21年度～）
保険個別指導を実施（平成21年度～）
機能訓練指導員にインフルエンザ予防接種に係る助成金を支出（平成21年度～）
新入会員を対象とした福祉部オリエンテーションを開催（平成21年度～）
京都市伏見地域介護予防推進センターの運営受託（平成21年度～）
京都市社会福祉協議会デイサービスセンター施設長と意見交換会を開催（平成21年度～）
介護支援専門員実務研修受講のために資料・情報を提供（平成21年度～）
京都府柔道整復師・養成学校特別昇段審査会を開催（平成21年度～）
京都府柔道整復師会救急救護隊研修会を開催（平成22年度～）
柔道整復に係る研究活動への支援及び助成金の支出（平成23年度～）
京都市教育委員会主催「みやこ子ども土曜塾」事業に協力（平成23年度～）

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成16年4月～）		
平成16年	2004	4月	会員に臓器移植意思表示カードへの協力を要請 KBSかたつむり大作戦への協賛		
		5月	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等 〃 社団法人設立50周年記念式典・祝賀会を開催・記念誌の発刊		
		6月	柔道整復師施術療養費支給申請書の書式変更 〃 第16回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿） 〃 京都手をつなぐ育成会「愛のひとしずく運動」への協力 〃 京都新聞「スポーツひろば」に会員投稿記事の連載開始		
		7月	パソコン講習会開催（16年7月、9月、11月、17年1月） 〃 第30回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（兵庫県：尼崎市記念公園総合体育館）		
		8月	日赤レスキューチェーン研修会に参加 〃 プライマリ・ケア総会に参加		
		9月	プライマリ・ケア市民講座へ講師派遣（仏教大学四条センター）		
		10月	第7回日整学術・実技研修会に参加（東京都：ビッグサイト） 〃 文部科学大臣杯争奪第13回日整全国少年柔道大会に参加（東京：講道館） 〃 厚生労働大臣旗争奪第28回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館） 〃 第29回近畿ブロック学会に参加・協力（滋賀県：ピアザ淡海）		
		11月	定款一部変更認可 〃 第46回京都接骨学会並びに保険講習会を開催 〃 第13回日本柔道整復・接骨医学会に参加（長野県） 〃 国民皆保険制度を守る署名運動への協力		
		12月	京柔整手帳の作成・配布		
		平成17年	2005	1月	新春互礼会を開催 〃 税務講習会・相談会を開催
				3月	第47回京都接骨学会並びに保険講習会を開催 〃 通常総会を開催：事業計画及び予算の承認、役員を選任等（栗原壽雄会長 3選）
				4月	個人情報適正な取り扱いのためのガイドラインを作成・送付
				5月	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等、総会懇親会を開催 〃 日本プライマリ・ケア学会シンポジウムに参加（京都国際会館）
				6月	京都府医療団体協議会イベントに参加、DVDを作成（みやこメッセ） 〃 第17回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿）

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成17年7月～）
平成17年	2005	7月	第31回近畿ブロック柔道大会に参加・協力(滋賀県:滋賀県立武道館)
		〃	江口哲郎君を救う会への募金協力
		〃	京都府柔道整復師会指定居宅介護支援事業所の出張所廃止に伴う事務処理
		9月	プライマリ・ケア市民講座へ講師派遣（仏教大学四条センター）
		10月	文部科学大臣杯争奪第14回日整全国少年柔道大会に参加（東京：講道館）
		〃	厚生労働大臣旗争奪第29回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館）
		〃	第8回日整学術・実技研修会に参加（東京都：ビッグサイト）
		〃	第30回近畿ブロック学会に参加・協力（シルクホール）
		〃	ペイオフ対策の実行
		11月	保険講習会を開催
		12月	第14回日本柔道整復・接骨医学会に参加（東京都：産業プラザ）
		平成18年	2006
〃	会員手帳の作成・配布、身分証明書の発行		
〃	税務講習会・相談会を開催		
〃	日整のロゴマーク入り支給申請書の使用を開始		
2月	機能訓練指導員講習会を開催		
〃	ホストコンピュータシステムソフトの追加・変更		
3月	第48回京都接骨学会並びに保険講習会を開催		
〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認等		
5月	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等、総会懇親会を開催		
6月	第18回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿）		
8月	京都府柔道整復師会救護トレーナー講習会を開催		
〃	第32回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（京都市武道センター）		
9月	第49回京都接骨学会並びに保険講習会を開催		
〃	保険手引書の改正・配布		
〃	保険集団指導（京都府・京都社会保険事務局主催）に参加・協力		
10月	柔道整復師のPR活動のためのリーフレットを作成・配布		
〃	厚生労働大臣旗争奪第30回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館）		
〃	文部科学大臣杯争奪第15回日整全国少年柔道大会に参加（東京：講道館）		
〃	京都府医療団体協議会イベントに参加（みやこメッセ）		
〃	第31回近畿ブロック学会に参加・協力（奈良県：奈良県新公会堂）		

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成18年11月～）
平成18年	2006	11月	京都新聞に「防ごう暮らしのけが(会員投稿記事)」の連載開始
		〃	第14回柔整国際学術セミナーに参加（兵庫県：ラッセホール）
		〃	第15回日本柔道整復・接骨医学会に参加（京都府：明治鍼灸大学）
平成19年	2007	12月	京都府柔道整復師会救護トレーナー講習会を開催
		1月	新春互礼会を開催
		〃	会員手帳の作成・配布
		〃	税務講習会・相談会を開催
		2月	栗原壽雄会長旭日双光章受賞祝賀会を開催
		3月	第50回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認、役員を選任等（大西辰博会長 初当選）
		4月	公益法人対策委員会を設置
		5月	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等、総会懇親会を開催
		〃	希望者へ身分証明書の発行
		〃	京都府柔道整復師会館の4階部分を全面禁煙
		〃	京都府柔道整復師会館にAED（自動体外式除細動器）を設置
		7月	第19回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿）
		8月	第33回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（奈良県：奈良市中央第二武道場）
		9月	暴力団対策セミナーを開催
		〃	第16回日本柔道整復・接骨医学会に参加（北海道：札幌コンベンションセンター）
		〃	京都府柔道整復師会館内の無線LAN整備完了
		10月	文部科学大臣杯争奪第16回日整全国少年柔道大会に参加（東京：講道館）
		〃	厚生労働大臣旗争奪第31回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館）
		11月	京都府医療推進協議会イベントに参加（みやこメッセ）
〃	第32回近畿ブロック学会に参加・協力（和歌山県：和歌山県勤労福祉会館）		
〃	第51回京都接骨学会並びに保険講習会を開催		
12月	会員手帳を作成・配布		
平成20年	2008	1月	新年互礼会を開催
		〃	臨時総会を開催・会館敷地購入の承認等
		〃	税務講習会を開催

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成20年3月～）
平成20年	2008	3月	第52回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		〃	公益法人制度改革説明会を開催
		〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認等
		4月	京柔整会報をA4版に改訂・年4回の発行を実行
		〃	保険説明会及び学術勉強会を各6回受講した会員に対し定率会費の減免を開始
		5月	京柔整トレーナー講習会を開催
		〃	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等、総会懇親会を開催
		6月	上級救命講習会を開催
		〃	第20回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿）
		〃	日整全国少年柔道京都大会20回記念柔整学校親善柔道大会を開催（旧武徳殿）
		〃	臨時保険講習会を開催
		7月	日整主催機能訓練指導員認定講習会を京都府柔道整復師会館において開催
		〃	京柔整会報に広告掲載を開始
		〃	第34回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（和歌山県：藤村茂記念柔道会館）
		8月	公益法人制度改革説明会を開催
		〃	日整国際交流事業報告会を開催
		〃	京都府と「災害時等における京都府柔道整復師会の協力に関する協定」を締結
		9月	第33回近畿ブロック学会に参加・協力（兵庫県：西山記念会館）
		10月	文部科学大臣杯争奪第17回日整全国少年柔道大会に参加（東京：講道館）
〃	厚生労働大臣旗争奪第33回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館）		
〃	京都府医療推進協議会イベントに参加（みやこメッセ）		
〃	第53回京都接骨学会並びに保険講習会を開催		
〃	会館土地取得に係る最終手続を終了（国有地受渡処理を完了）		
11月	福祉部・京都府柔道整復師協同組合合同講習会を開催		
〃	第17回日本柔道整復・接骨医学会に参加（東京都：代々木ビジネスセンター）		
12月	会員手帳を作成・配布		
平成21年	2009	1月	新年互礼会を開催
		〃	保険集団指導に参加・協力（キャンパスプラザ京都）
		〃	税務講習会・相談会を開催

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成21年3月～）
平成21年	2009	3月	第54回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認、役員を選任等（大西辰博会長 2選）
		4月	定率会費に係る乗率の減率を施行
		〃	希望者へ身分証明書を発行
		5月	上級救命講習会を開催
		〃	総ての柔整療養費支給申請書を会長委任払いへ移行
		〃	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等
		〃	社団法人設立55周年記念式典・祝賀会を開催
		6月	第21回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿）
		7月	機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会を開催
		〃	地域介護予防推進センター準備委員会を設置
		8月	第35回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（兵庫県：尼崎市記念公園総合体育館）
		9月	京都府医療推進協議会イベントに参加（みやこメッセ）
		〃	第55回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		10月	第34回日整近畿学会滋賀大会に参加・協力（滋賀県：ピアザ淡海）
		〃	新年互礼会の中止を決定
		〃	文部科学大臣杯争奪第18回日整全国少年柔道大会に参加（東京：講道館）
		〃	厚生労働大臣旗争奪第33回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館）
		11月	京都市伏見地域介護予防推進センターを開所
〃	第18回日本柔道整復・接骨医学会に参加（大阪府：大阪国際交流センター）		
〃	保険集団指導（京都府・近畿厚生局主催）に参加・協力（京都府庁）		
平成22年	2010	1月	税務講習会・相談会を開催
		3月	第56回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		〃	公益法人移行準備説明会を開催
		〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認等
		4月	労災公的審査会へ審査委員の派遣を開始
		〃	入会時における定額会費の徴収金額を変動制から年額制に統一
		〃	希望者へ身分証明書を発行
		5月	京都府合同防災訓練に参加
〃	上級救命講習会を開催		

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成22年5月～）
平成22年	2010	5月	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等、総会懇親会を開催
		〃	会館への支給申請書の提出が郵送・配送でも可能となる
		6月	第22回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿）
		〃	臨時保険講習会を開催
		〃	京都府柔道整復師会館の2～5階部分を全面禁煙
		7月	機能訓練指導員認定講習会を開催
		8月	第36回近畿ブロック柔道大会に参加・協力 （滋賀県：滋賀県立武道館）
		〃	第1回近畿ブロック少年柔道大会に参加・協力 （滋賀県：滋賀県立武道館）
		9月	京都府医療推進協議会イベントに参加（みやこメッセ）
		〃	2010年日本柔道整復接骨医学会主催研修会に参加・協力（京都会館）
		〃	第19回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加 （富山県：富山国際会議場）
		10月	第35回日整近畿学会京都大会に参加・協力 （京都大学百周年時計台記念館）
		〃	文部科学大臣杯争奪第19回日整全国少年柔道大会に参加 （東京：講道館）
		〃	厚生労働大臣旗争奪第34回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館）
平成23年	2011	11月	保険講習会を開催
		1月	税務個別相談会を開催
		〃	臨時保険講習会を開催
		〃	救急救護隊役員研修会を開催
		〃	保険手引書を改訂
		2月	支給申請書を統一様式に変更
		3月	第57回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		〃	機能訓練指導員認定柔道整復師講習会を開催
		〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認、役員を選任等 （大西辰博会長3選）
		5月	保険調査委員会設置規定及び災害対策本部設置規定を施行
		〃	京都府合同防災訓練に参加
		〃	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等
		〃	総会後の懇親会を中止し、その費用を東日本大震災に対する義援金に支出
		6月	第23回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿）

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成23年6月～）
平成23年	2011	6月	第1回日整全国少年柔道形競技会予選を開催（旧武徳殿）
		7月	学術部・京都府柔道整復師協同組合合同講習会を開催
		8月	第37回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（私立洛南高等学校柔道場）
		〃	第2回近畿ブロック少年柔道大会に参加・協力（私立洛南高等学校柔道場）
		〃	「京都おもいやり駐車場利用証制度」の協力駐車場登録に協力
		〃	学術部・京都医健専門学校合同講習会を開催（京都医健専門学校）
		10月	普通救命講習会を開催
		〃	機能訓練指導員講習会を開催
		〃	第36回日整近畿学術大会奈良大会に参加・協力（奈良県社会福祉総合センター）
		〃	文部科学大臣杯争奪第20回日整全国少年柔道大会に参加（東京：講道館）
		〃	厚生労働大臣旗争奪第35回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館）
		〃	第20回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加（幕張メッセ国際会議場）
		11月	第58回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		〃	臨時総会を開催：公益社団法人への移行に関する議案の承認
		12月	京都府医療推進協議会イベントに参加（みやこメッセ）
		〃	臨時総会を開催：公益社団法人への移行に関する議案の承認
		平成24年	2012
〃	保険集団指導に参加・協力（京都テルサ）		
3月	第59回京都接骨学会並びに保険講習会を開催		
〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認等		
〃	第59回京都接骨学会並びに保険講習会を開催		
〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認等		
4月	京都高齢者あんしんサポート企業サポーター養成研修会に参加・協力		
5月	臨時保険講習会を開催		
〃	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等		
6月	第24回日整全国少年柔道大会京都予選を開催（旧武徳殿）		
〃	第1回日整全国少年柔道形競技会予選を開催（旧武徳殿）		
〃	施術録勉強会を開催（6月～10月、京柔整会館）		
7月	京柔整学術部・京都府柔道整復師協同組合合同講習会（京柔整会館）		
〃	第38回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（奈良市中央第2武道場）		

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成24年7月～）
平成24年	2012	7月	第3回近畿少年柔道大会に参加・協力（奈良市中央第2武道場）
		8月	中学校武道必修化に向けた日整柔道指導者講習会に参加
		9月	京都府合同防災訓練に参加（桂川河川敷公園）
		〃	学術部・京都医健専門学校合同講習会を開催（京都医健専門学校）
		10月	普通救命講習会を開催
		〃	機能訓練指導員講習会を開催
		〃	第37回日整近畿学術大会和歌山大会に参加・協力（和歌山県：ホテルアパローム紀の国）
		〃	文部科学大臣杯争奪第21回日整全国少年柔道大会に参加（講道館）
		〃	厚生労働大臣旗争奪第36回日整全国柔道大会に参加（講道館）
		〃	第60回京都接骨学会並びに保険講習会を開催（京都府柔道整復師会館）
		11月	京柔整学術部・京都仏眼医療専門学校合同講習会を開催（京都仏眼医療専門学校）
		〃	京都府医療推進協議会イベントに参加（みやこメッセ）
		〃	臨時総会を開催：公益社団法人への移行に関する議案の承認
		〃	第21回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加（福岡県：福岡国際会議場）
		12月	臨時総会を開催：公益社団法人への移行に関する議案の承認
		平成25年	2013
〃	保険集団指導への参加・協力		
3月	第61回京都接骨学会並びに保険講習会を開催		
〃	機能訓練指導員講習会を開催		
〃	通常総会を開催：事業計画及び予算の承認、役員を選任等（大西辰博会長 4選）		
4月	公益法人制度改革に伴い公益社団法人へ移行		
〃	公益社団法人移行に伴う定款及び定款施行細則、その他諸規程の施行・改正・廃止		
5月	総会前学術講習会を開催		
〃	定時総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等、総会懇親会を開催		
6月	普通救命講習会を開催		
〃	第25回日整全国少年柔道大会京都予選を開催（旧武徳殿）		
7月	第39回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（和歌山県：和歌山県立武道館）		
〃	第4回近畿少年柔道大会に参加・協力（和歌山県：和歌山県立武道館）		

和歴	西暦	月	主な事業内容（平成25年8月～）
平成25年	2013	8月	機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会を開催
		9月	京都府合同防災訓練に参加（宮津市運動公園）
		〃	国民健康保険事務担当者研修会に講師派遣（ホテル ルビノ京都堀川）
		〃	第62回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		10月	ホームページをリニューアル
		〃	文部科学大臣杯争奪第22回日整全国少年柔道大会に参加（東京：講道館）
		〃	厚生労働大臣旗争奪第37回日整全国柔道大会に参加（東京：講道館）
		〃	第5回世界柔道形選手権大会・公開演武に参加・協力（京都市武道センター）
		〃	第38回日整近畿学術大会兵庫大会に参加・協力（兵庫県：神戸芸術センター）
		11月	学術部・京都医健専門学校合同講習会を開催（京都医健専門学校）
		〃	第22回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加（東京都：東京有明医療大学）
		〃	柔整周辺問題対策委員会を設置
〃	60周年記念事業実行委員会を設置		
12月	京都府医療推進協議会イベントに参加（みやこメッセ）		
平成26年	2014	2月	個別税務相談会を開催
		〃	スパイラルテーピング講習会を開催
		3月	第63回京都接骨学会並びに保険講習会を開催
		〃	理事会において平成26年度事業計画及び予算の承認等
		5月	定時総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等
		〃	普通救命講習会を開催
		〃	学術講習会を開催
		6月	社団法人設立60周年記念式典・祝賀会を開催
		〃	機能訓練指導員認定柔道整復師講習会 フォローアップ講習会を開催
		〃	京柔整学術部・京都仏眼医療専門学校合同講習会を開催（京都仏眼医療専門学校）

記念事業実行委員

役 職	氏 名
実行委員長	大西辰博
実行副委員長	関弘美
〃	長尾淳彦
〃	柴田宗宣
委 員	中田康人
〃	林啓史
〃	岡本玄剛
〃	中村英弘
〃	岡田達也
〃	宮根保司
〃	亘高司
〃	除門悟
〃	谷山和浩
〃	西村美紀
〃	大西裕二
〃	中川稔貴
〃	安田優二
〃	森田康裕
〃	梅谷慎二

役 職	氏 名
委 員	岡島順
〃	河本圭史
〃	池辺徹
〃	木藤知弘
〃	安本彰吾
委員(協同組合)	山村政男
〃	中西栄一
〃	塚原貴史
〃	波多野晃彦
〃	岡村好剛
委員(事務局)	大路満男
〃	清水朱美
〃	池田千穂
〃	市川悦子
〃	吉村博子
〃	香取紹子
委員(センター職員)	三宅泰斗
〃	吉田捺紀

社団法人設立60周年 協同組合設立25周年 記念

平成26年9月20日

発 行 者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会 長 大西辰博
協同組合理事長 関弘美
編集責任者 広報部長 中川稔貴
発 行 所 京都市東山区大和大路五条下ル東入芳野町79の2
印 刷 所 奥原印刷紙行
京都市西京区松室北河原町25

